

## 研修カリキュラム

### 【科目別特徴】

項目	科目
職務の理解	(1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解
介護における尊前の保持・自立支援	(3)人権と尊厳を支える介護 (4)自立に向けた介護
介護の基本	(5)介護職の役割、専門性と多種職との連携 (6)介護職の職業倫理 (7)介護における安全の確保とリスクマネジメント (8)介護職の安全
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(9)介護保険制度 (10)障害者自立支援制度およびその他の制度 (11)医療との連携とリハビリテーション
介護におけるコミュニケーション技術	(12)介護におけるコミュニケーション (13)介護におけるチームのコミュニケーション
老化の理解	(14)老化に伴うこころとからだの変化と日常 (15)高齢者と健康
認知症の理解	(16)認知症を取り巻く状況 (17)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (18)認知症に伴うこころとからだの変化と日常 (19)家族への支援
障害の理解	(20)障害の基礎的理解 (21)障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (22)家族の心理、かかわり支援の理解
こころとからだのしくみと生活支援技術	(23)介護の基本的な考え方 (24)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (25)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (26)生活と家事 (27)快適な居住環境設備と介護 (28)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (29)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (30)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (31)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (32)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (33)睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (34)死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 (35)介護課程の基礎的理解 (36)総合生活支援技術演習
振り返り	(37)振り返り (38)就業への備えと研修終了後における継続的な研修
人権学習	(39)高齢者問題をはじめとする人権問題

科目番号	特徴及び内容
(1)	介護保険サービス(居宅、施設)また、介護保険外サービス
(2)	居宅、施設の多様な働く現場の仕事内容及びサービス提供現場の具体的なイメージ
(3)	人権と尊厳の保持、ノーマライゼーションの考え方、個人の権利を守る制度
(4)	自立支援や介護予防の考え方
(5)	介護環境の特徴と理解、介護の専門性及び職種
(6)	介護職としての職業倫理、社会的責任やプライバシーの保護・尊重
(7)	介護における安全の確保、事故予防、感染対策
(8)	介護職の心身の健康管理(腰痛の予防・手洗いの基本)
(9)	介護保険制度の基本的仕組み
(10)	障害者福祉制度の理念と障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解

(11)	医療行為と介護・訪問介護、施設における看護と介護の役割
(12)	介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、コミュニケーションの技術
(13)	記録における情報の共有化、報告・連絡・相談の徹底
(14)	老化に伴う心身の変化の特徴と機能の変化と日常生活への影響
(15)	高齢者の疾病、病気とその日常生活上の留意点
(16)	認知症ケアの理念
(17)	認知症の概念、原因疾患とその病態
(18)	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴、認知症の利用者への対応
(19)	認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減
(20)	障害の理解とICF、障害者福祉の基本理念
(21)	身体障害・知的障害・精神障害
(22)	家族の支援(介護負担の軽減)
(23)	理念に基づく介護、法的根拠の基づく介護
(24)	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい
(25)	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋にかんする基礎知識
(26)	家事と生活の理解、介護用ベッドを利用してベッドメイキング
(27)	快適な居住環境に関する基礎知識、バリアフリーや福祉用具について
(28)	身体状況に合わせた衣服の選択(衣服の脱着)
(29)	車イス、杖を利用した移動・移乗に関する基礎知識
(30)	食事に関する基礎知識(食事介助)
(31)	入浴に関する基礎知識(足浴・手浴・洗髪)
(32)	排泄に関する基礎知識(ポータブルトイレ・おむつの利用)
(33)	安眠の為の介護の工夫、安楽な姿勢
(34)	「死」に向き合うこころの理解、終末期ケアとは・・・
(35)	介護課程の目的・意義・展開、介護課程とチームアプローチ
(36)	事例による展開(グループディスカッション)
(37)	研修を通して学んだ事、復習
(38)	継続的に学ぶべきこと、研修終了後における継続的な研修について
(39)	同和問題をはじめとする人権問題